



在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の中核的医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

<p>(ア) 地域の医療・介護サービス資源の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化 ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査 ◆ 結果を関係者間で共有 	<p>(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援 ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用 	<p>(キ) 地域住民への普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催 ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発 ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等 
<p>(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討 	<p>(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。 	<p>(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討 例) 二次医療圏内の病院から退院する事例等に関して、都道府県、保健所等の支援の下、医療・介護関係者間で情報共有の方法等について協議 等
<p>(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進 	<p>(カ) 医療・介護関係者の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実践を習得 ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等 	

在宅医療・介護連携推進事業の事業項目		平成30年4月現在の小金井市の取り組み状況	今後の予定
(ア)	地域医療・介護サービス資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市医療資源マップ作成（平成30年1月作成） ・小金井市医師会の公式ウェブサイト上の医療機関検索の活用 ・介護サービス利用ガイドブック（平成30年3月作成） ・東京都北多摩南部保健医療圏リハビリテーション実施機関名簿（平成27年3月武蔵野赤十字病院作成） ・リハビリテーション実施機関ナビWeb版の運用開始（平成29年10月武蔵野赤十字病院作成） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市医療資源マップは第7期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画の期間中に1回は刷新。 ・介護サービス利用ガイドブックは毎年3月に改定予定。
(イ)	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	在宅医療・介護連携推進会議の実施（平成27年度から年3回実施）	今後も年3回（7、10、2月）に実施予定
(ウ)	切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進	地域医療委員会や講演会を通じて、体制構築の推進、普及啓発を行っている。	
(エ)	医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井もの忘れ相談シートの活用（平成25年～） ・主治医連絡票の活用（平成27年～） ・ケアマネタイムの活用 ・ICTの普及啓発 	今後も継続して普及啓発、活用を続けていく。
(オ)	在宅医療・介護連携に関する相談支援	小金井市医師会在宅医療・介護連携支援室の開設（平成29年7月）	
(カ)	医療・介護関係者の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修会の実施（平成27年度～） ・在宅医療研究会講演会（平成29年度～） ・医師会主催の各種講演会、研修会実施 ・歯科医師会主催の講演会 	
(キ)	地域住民への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・お元気サミット in 小金井にて在宅医療についての講演会、シンポジウム、ロールプレイングを実施（平成30年2月14日） ・介護の日イベント（平成29年11月17日） 【お笑い劇場】介護生活笑百科、医師会・歯科医師会・薬剤師会によるミニ講座等を実施 ・在宅療養についてのリーフレット作成（平成30年2月作成） ・小金井市公式サイトに（ア）の医療資源マップ、（キ）の在宅療養についてのリーフレットのデータ掲載（平成30年3月～） 	<ul style="list-style-type: none"> ・お元気サミット in 小金井（平成31年2月14日予定） ・介護みらいフェス2018（平成30年11月17日予定） ・在宅療養についてのリーフレットは介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画の期間中に1回は刷新。
(ク)	在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	リハビリテーション実施機関名簿およびマップ運用に関する検討会（北多摩南部脳卒中医療連携推進事業）の出席及び、事業実施元である武蔵野赤十字病院と連携した普及啓発	今後も検討会の出席及び武蔵野赤十字病院と連携した普及啓発を行っていく。

平成 30 年 7 月 日

医療機関・介護事業所等の管理者様

小金井市在宅医療・介護連携推進会議
委員長 齋藤 寛和

多職種連携に係る研修に関する調査について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

在宅医療・介護連携推進事業が国から示されてから 3 年が経過し、平成 27 年度から年間 3 回、在宅医療・介護連携推進会議を行い、医療と介護それぞれの分野の代表による話し合いで医療と介護の連携についての課題抽出を行ってまいりました。

その中で、多職種連携について、研修等への参加者をより一層増やしていき、医療・介護連携について更に広く理解や協力を得ていく必要があるということが解りました。

そこで、多職種連携に係る研修等について、各医療機関・介護事業所等のご意向をお伺いさせて頂きたく、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、下記のとおりご回答くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 回答様式 別紙「調査票」のとおり
- 2 回答期限 平成 30 年 7 月 日（ ）
※期間が短く申し訳ございません
- 3 回答方法 メールまたは F A X にて下記担当までご返送ください

※本調査後、調査結果を取りまとめ、医療機関・介護事業所様に結果をまとめたものを情報提供させていただく予定です。

【問合せ先】

小金井市医師会在宅医療・介護連携支援室
担当：川崎
電話：042-316-4630
FAX：042-316-4730
E-mail：renkeishitsu@koganei-med.or.jp

多職種連携に係る研修に関する調査票

ご回答者

医療機関・介護事業所名	
-------------	--

切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制を構築するために、小金井市医師会在宅医療・介護連携支援室では小金井市からの委託を受けて年4回、医療従事者、介護従事者向けの研修を実施しています。

更に医療と介護の連携を進めるために研修内容の充実、研修参加者の増加が望まれるため、研修について以下の質問にご回答をお願いします。

1 研修等の通知を受け取る場合、どのような方法が良いですか？	回答	備考(その他)
<input type="checkbox"/> ア メール <input type="checkbox"/> イ FAX <input type="checkbox"/> ウ 郵送 <input type="checkbox"/> エ その他		
2 研修等の通知を受け取った後、所属職員等にはどのように通知していますか？	回答	備考(その他)
<input type="checkbox"/> ア 回覧 <input type="checkbox"/> イ メール <input type="checkbox"/> ウ 掲示(研修の通知を壁に貼るなど) <input type="checkbox"/> エ 通知を印刷し、個別に配布 <input type="checkbox"/> オ 研修の通知対象者はいない <input type="checkbox"/> カ その他		
3 参加しやすい時間帯を教えてください。(複数回答可)	その他	
<input type="checkbox"/> ア 平日午前 <input type="checkbox"/> イ 平日午後 <input type="checkbox"/> ウ 平日夜 <input type="checkbox"/> エ 休日午前 <input type="checkbox"/> オ 休日午後 <input type="checkbox"/> カ 休日夜 <input type="checkbox"/> キ その他		
4 3でエ、オ、カのいずれかを選んだ方で、公休日、休診日、定休日が固定されている場合、その曜日を教えてください。	その他	
<input type="checkbox"/> ア 月曜日 <input type="checkbox"/> イ 火曜日 <input type="checkbox"/> ウ 水曜日 <input type="checkbox"/> エ 木曜日 <input type="checkbox"/> オ 金曜日 <input type="checkbox"/> カ 土曜日 <input type="checkbox"/> キ 日曜日 <input type="checkbox"/> キ その他		
5 多職種連携について、興味・関心があるテーマを教えてください。(自由記入)		
6 多職種連携に関連して、日ごろ意識しているまたは実施している取組等を教えてください。(自由記入)		
返送先: 小金井市医師会在宅医療・介護連携支援室 FAX: 042-316-4730 / E-mail : renkeishitsu@koganei-med.or.jp		